

Web対応 帳票作成・印刷支援ツール

ライセンスフリー ActiveX & DLL

使いやすいレポート・デザイナー

マウスで手軽に精細なレポートをデザイン

インターネットで印刷 (V1.1 より ASP.NET 対応)

サーバーサイドで印刷結果をファイルに作成

クライアントサイドで印刷(ActiveX または、COREPO ビューアーで印刷)

簡単バーコード印刷

JAN / UPCA-E / ITF / CODE39-128 / NW7 / IATA / 郵便加付 等

印刷エンジンが提供する豊富な機能

デザイナー同等の機能を提供

オーバーレイ印刷(2ページ重ね合わせて印刷)

印刷内容をファイルに出力 / 印刷データをプリンタに出力

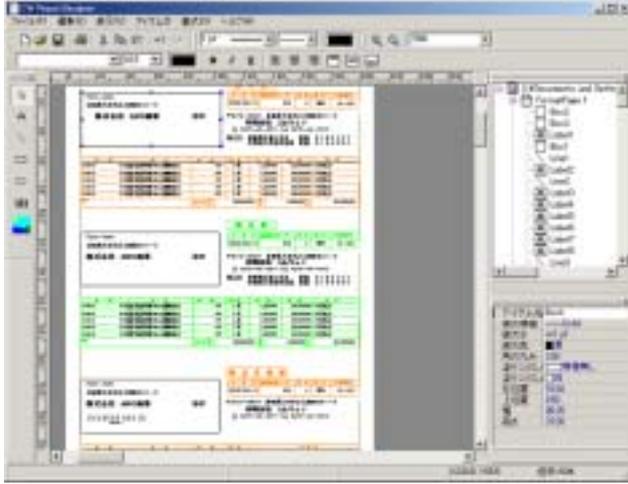
2通りの印刷エンジン ActiveX 印刷エンジン・DLL 印刷エンジン

COREPO

COMWARE Corporation

COREPO V1.1J

コレポは、マウスで手軽にプレ印刷に匹敵する精細な帳票をデザインできます。さらに、COREPO 印刷エンジンを
使えば、VB.NET(ASP.NET),C#.NET(ASP.NET),VB,Delphi,C,C++といったプログラミング言語を使う開発者は、簡
単なコーディングで、洗練されたレポートの出力の機能をアプリケーションに追加することができます。



◆使いやすい帳票デザイナー

マウスで手軽にプレ印刷に匹敵する精細な帳票をデザインできます。ツールボックスに装備されたアイテムは、ラベル(文字列)、線、四角形、円(楕円)、イメージ、バーコード。これらをマウスで次々にレイアウトして目的の帳票に仕上げます。既存の帳票がある場合は、スキャナで取り込んで下敷き代わりに利用できます。会社ロゴや写真・図形データなどをレイアウトすることも可能です。

◆1次元バーコードのサポート

豊富な1次元バーコード(JAN13/EAN13,JAN8/EAN8,UPCA,UPCE,ITF,Matrix2of5,Code39/フルアスキー,Code128,NW7,IATA,Industrial2of5,郵便カスタム)をサポート。簡単に帳票にバーコードを配置できます。

◆2通りの印刷エンジン

コレポの印刷エンジンは、ActiveXコントロール及び、DLL(ダイナミックリンクライブラリ)の2種類が提供されます。

◆Web対応(ASP.NET対応)

COREPO印刷エンジンは、デザイナーで作成した帳票ファイルを、HTTP転送/FTP転送にて、サーバーよりダウンロードして印刷したり、イメージ(BITMAP/JPEG等)を、サーバーよりダウンロードして、帳票に印刷できます。もちろん、印刷エンジンはActiveXですから、Webアプリケーションに対応しており、ASP.NETサーバーサイドでも動作します()。

サーバーサイドの動作には一部制限があります。

- ・開発元：有限会社コムウェア
- ・Microsoft、Windows及びWindowsNTは、米国マイクロソフト社の米国ならびにその他の国における登録商標です。
- ・Visual C++は、米国マイクロソフト社の米国ならびにその他の国における商標です。
- ・Borland C++Builder, Delphiは、米国ボーランド社の米国ならびにその他の国における商標です。
- ・上記の他、本ファイルに記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

標準価格 **58,000** 円 (税込み価格60,900円)

有限会社コムウェア

〒373-0801 太田市台之郷町 601 番地の 2

0276(48)0811 Fax0276(48)0815

URL <http://www.com-ware.jp>

主な機能

・使用可能な開発言語/ツール

コレポの印刷エンジンは、ActiveXコントロール及び、DLL(ダイナミックリンクライブラリ)の2種類が提供されます。ActiveXやDLLをサポートするほとんどの開発環境でご使用いただけます。(Microsoft VB.NET C#.NET VB VC++, Microsoft Office製品のVBA, Borland Delphi, Borland C++Builderなど)

・レポートファイル・セキュリティ

当社暗号化技法によるレポートデータの暗号化
CRC32によるレポートデータ検証
デザイナー使用時のパスワード設定による保護(指定した場合のみ有効)

・レポート・アイテム

テキスト(文字列)、線、四角形、円(楕円)、イメージ、バーコード

・文字コード

SJIS/UNICODE
(注)DLLエンジンのI/FはSJISです。

・印刷

デザイン時に設定/印刷時にプリンターを選択/システム
のデフォルトのプリンターで印刷
ファイルに印刷結果を出力
プレビュー画面に表示(印刷時にダイアログ画面でプリンター変更可能)

・長さの単位

ミリメートル又はインチ単位(ページ設定にて指定)
(ミリメートルの最小値は0.01mm、インチの最小値は0.001inch)

必要システム

- ・日本語オペレーティングシステム
Microsoft Windows 95osr2/98se/Me/NT4.0sp3/2000/XP
- ・Pentium166MHz以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・CD-ROMドライブ
- ・100MB以上のハードディスク空き容量

パッケージ内容

CD-ROM 1枚
インストールマニュアル 1冊
ユーザー登録シートなど

リファレンスマニュアルはCD-ROMのDOCフォルダにPDF形式で格納されています。必要に応じてお客様ご自身で印刷して、ご使用ください。

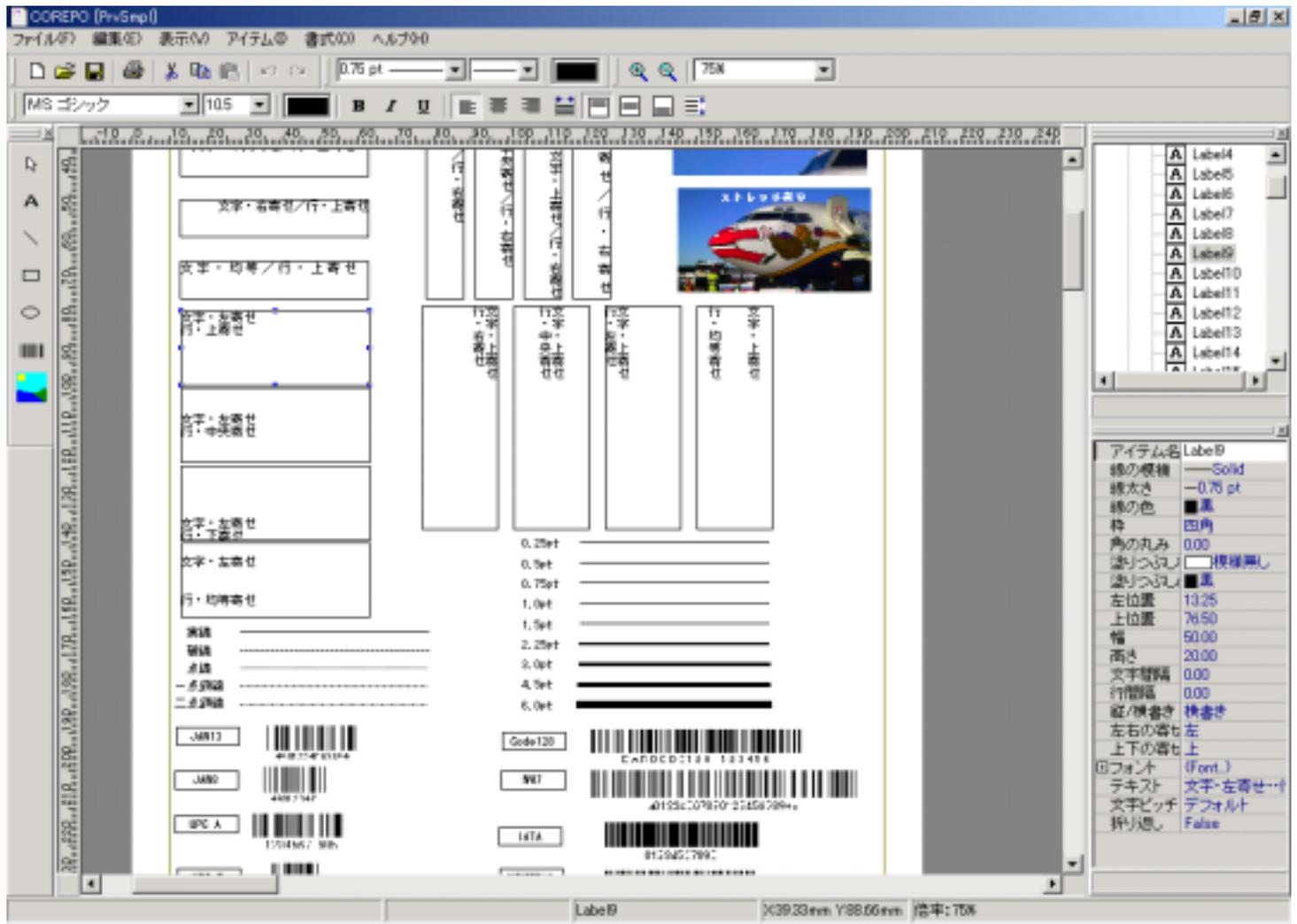
使用許諾契約の内容

- ・1ライセンス用
- ・ライセンスの範囲、ライセンス数の数え方など、詳しくは同梱の使用許諾契約書をお読みください

COMWARE Corporation

本仕様及び価格等は、予告なしに変更する場合があります。

・操作性を重視した帳票デザイナー



マウスで手軽にプレ印刷に匹敵する精細な帳票をデザインできます。ツールボックスに装備されたアイテムは、

テキスト（文字列）、線、四角形、円（楕円）、イメージ、バーコード

これらをマウスで次々にレイアウトして目的の帳票に仕上げます。既存の帳票がある場合は、スキャナで取り込んで下敷き代わりに利用できます。アイテムの複製機能があり、同一オブジェクトを一度に複数生成することが出来ます。また、アイテムのグループ化機能があり、関連したアイテムを1つのグループとして扱うことが出来ます。会社ロゴや写真・図形データなどをレイアウトすることも可能です。

・2種類のランタイムライセンスフリー印刷エンジンエンジン

レポートデザイナーで設計したレポートの印刷を提供するインターフェースは、ActiveX コンポーネント及びダイナミック・リンク・ライブラリの2種類を提供します。どちらも、Windows 標準の I/F ですから、Windows 上での、ほとんどの開発言語から呼び出し可能なばかりか、DHTML (ASP) の VB スクリプトや ASP.NET サーバーサイドプログラムからも呼び出せます。印刷エンジンの提供する機能でレポート内のアイテムを、デザイナー同様に制御できます。

印刷プレビュー機能により、印刷の確認が出来ます。また、プレビュー画面は、呼び出しアプリケーション内に表示させることも可能です。さらに、オーバーレイ機能で、2枚のレポートを重ね合わせて出力できます。

【COREPO ActiveX 印刷エンジンのプログラミング概要】

COREPO ActiveX レポート印刷エンジンは3つのオブジェクトから構成されます。

レポートオブジェクト

レポートオブジェクトは、レポートを制御するオブジェクトです。他の2つのオブジェクト(アイテム・プレビュー)の親オブジェクトです。

アイテムオブジェクト

アイテムオブジェクトは、デザイナーでレポートに貼り付けたアイテムを制御するオブジェクトです。

プレビューオブジェクト

プレビューオブジェクトは印刷プレビュー画面を制御するオブジェクトです。

レポート印刷エンジンの制御は2つのセッションに分けられます。

レポートアクセス・セッション

レポートアクセス・セッションはレポートファイルのパス設定で始まり、別のレポートパスが設定されるか、パスをクリアするまで、そのセッションが続きます。

印刷ジョブ・セッション

印刷ジョブ・セッションは、印刷ジョブのオープン (OpenPrintJob) で始まり、印刷ジョブのクローズ (ClosePrintJob) で終わります。

以下に示すのは、簡単な印刷エンジンのプログラミングの流れです。

